

2013年10月29日

報道各位

日本歯磨工業会

2013年度 歯と口の健康週間企画 第13回標語募集表彰式

最優秀賞「歯みがきは 健康管理の 最前線」

日本歯磨工業会（会長 藤重貞慶）では、2001年より毎年「歯をみがくことの大切さ」をテーマにした標語を全国の皆さまから募集しています。13回目となった本年度は、「歯の衛生週間」の名称が55年ぶりに「歯と口の健康週間」に変更されたことから、この名称の浸透と、「歯の大切さ、口の健康の大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに、日本歯磨工業会のホームページを通して、4月1日～6月30日の3ヶ月間にわたって募集しました。

この度、9,916作品と多数ご応募頂いた作品について当工業会で審査を進め、最優秀賞・優秀賞・ユニーク賞・ファミリー賞・キッズチャレンジ賞（小中学生対象：新設）・佳作、の全28点を選出し、10月25日（金）、最優秀賞「歯みがきは 健康管理の 最前線」の作者・倉持 恒一さんに日本歯磨工業会の事務所にお越しいただき、表彰式を行いました。

表彰式には、日本歯磨工業会 専務理事・山下育生、同 広報委員長・鈴木久美子（サンスター株式会社）が出席し、鈴木広報委員長より、表彰状と賞金が倉持さんに手渡されました。

倉持さんは「人間は、飲み物・食べ物という口に入れるもので生かされていて、歯でよく噛んで口で咀嚼できないと、胃腸に負担がかかり、病気になりやすいと聞きます。そういう意味で、口は身体の中の最前線だと思い、この標語をつくりました。歯が痛い仕事にも差し支えるので30歳代からオーラルケアに気を使うようになり、今では年に4回掛かり付けの歯科医院に通ってムシ歯の点検、歯石の除去、ホワイトニングを行っています。」と作品づくりの背景を語ってくださいました。歯と口の健康が体全体の健康増進に重要であるという、近年学会等でも話題の観点でご自身の健康増進に取り組まれている倉持さんの作品は、当工業会ホームページに掲載するなど当工業会の標語として幅広く活用します。なお、優秀賞をはじめとするその他の受賞作品も力作揃いです。ぜひ、下記のホームページをご覧ください。

◆日本歯磨工業会ホームページ 第13回標語募集 入選標語作品 紹介ページ

[http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo\\_kekka13.shtml](http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo_kekka13.shtml)

◆本件のお問い合わせ先：日本歯磨工業会 山下育生 TEL 03 (3249) 2511

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

<参考資料>

◆表彰式の模様

10月25日（金）、日本歯磨工業会の事務所で行われた表彰式には、最優秀賞の作者、茨城県つくば市の倉持 恒一さんに、お忙しいお仕事の合間においでいただきました。

倉持さんは、

「日本歯磨工業会ホームページは、早速スマホに登録し、歯みがきに関する新コンテンツがアップされるとチェックしています。最近、仕事で帰りが遅くなることが多いのですが、受賞作品の掲載ページを仕事の合間に見て、励みにします。賞金は、茨城の竜巻被害の関係への寄付と、妻へのプレゼントに使います。」と受賞の喜びを語ってくださいました。



左から鈴木広報委員長、倉持 恒一さん

◆受賞作品ピックアップ：多数の受賞作品から少しだけピックアップしてご紹介！

ユニーク賞から

「目標は 70 過ぎても 肉食女子」（天野 亜矢子さん/静岡県）

キッズチャレンジ賞から

「おとなのは はえたよまもるよ よろしくね」（上田 絆叶さん/兵庫県）」

佳作から

「歯みがきで 未来の自分に 思いやり」（安元 さや香さん/愛知県）